

歳出科目 (P270～P271)	8 款 2 項 4 目	橋梁維持費
------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
橋梁維持費	477,861	558,026	△80,165

主な財源		主な経費	
国庫支出金	260,700	委託料	96,579
市債	159,100	工事請負費	376,658
一般財源	58,061	公有財産購入費	3,900
		補償、補填及び賠償金	724

橋梁の損傷箇所の修繕を行い、長寿命化を図るもの

【目的】

橋梁の損傷箇所の修繕を行い、長寿命化を図るとともに、一般交通に支障を及ぼさないよう橋梁の維持管理を行う。

【31 年度目標】

- ・ 302 橋の定期点検を早期に発注し、12 月末までに完了する。
- ・ 50 橋の修繕工事を計画的に発注し、非出水期間での施工が条件となる 8 橋については河川占用期間内に、その他の工事については 12 月末までに完了する。

【実施内容】

修繕工事

地区	橋梁名 (路線名)	施工地	実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	無名橋 (国府一丁目 11 号線)	国府一丁目	修繕工事	48
	無名橋 (春日新田五丁目 16 号線)	春日新田五丁目	〃	
	無名橋 (北消防署東通線)	春日新田二丁目	〃	
	無名橋 (春日新田一丁目 9 号線)	春日新田一丁目	〃	
	無名橋 (安江松村新田線)	松村新田	〃	
	無名橋 (新町橋線)	土橋	〃	
	無名橋 (栄町二丁目 8 号線)	栄町二丁目ほか	〃	
	無名橋 (東中学校国道北線)	安江	〃	
	無名橋 (石橋一丁目 1 号線)	栄町二丁目ほか	〃	
	無名橋 (安江小町団地線)	安江二丁目ほか	〃	
	古川橋 (下門前区画 2 号線)	下門前	〃	
	春日山橋 (富岡木田線)	木田ほか	〃	
	無名橋 (上門前大和線)	稲荷	〃	49

地区	橋梁名（路線名）	施工地	実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	無名橋（京田儀明線）	向橋	修繕工事	49
	稲田橋（四辻町稲田橋線）	稲田二丁目ほか	〃	
	無名橋（中江地内線）	野尻	〃	50
	無名橋（国道石橋新田線）	石橋新田	〃	
	三分一橋（東中島三分一橋線）	下五貫野ほか	〃	
大島区	赤倉橋（赤倉線）	大平ほか	〃	52
柿崎区	池端橋（上下浜線）	江島新田ほか	〃	53
	砂川橋（上下浜線）	〃	〃	
	桃園橋（柳ヶ崎直海浜線）	馬正面	〃	
	新川井橋（川井木崎山線）	柿崎ほか	〃	
大潟区	無名橋（大潟 22 号線）	里鶉島新田	〃	
	無名橋（大潟 3058 号線）	東潟	〃	
	無名橋（大潟 3061 号線）	高橋新田ほか	〃	
	潟川 5 号橋（大潟 3069 号線）	蜘蛛ヶ池	〃	
	潟川 2 号橋（大潟 25 号線）	東潟ほか	〃	
	重併橋（大潟 3001 号線）	潟守新田ほか	〃	
頸城区	無名橋（手宮線）	手宮	〃	51
	無名橋（工業団地 2 号線）	上吉ほか	〃	
	無名橋（川袋線）	川袋ほか	〃	
	無名橋（市村島田線）	市村	〃	
	無名橋（下三分一村中 4 号線）	下三分一	〃	
	無名橋（下三分一村中 1 号線）	〃	〃	
	無名橋（松本線）	上吉	〃	
	無名橋（下吉新田線）	下吉	〃	
	無名橋（下吉北団地 5 号線）	〃	〃	
	無名橋（工業団地 3 号線）	〃	〃	
	無名橋（工業団地 4 号線）	下三分一ほか	〃	
	無名橋（上三分一市村線）	市村	〃	
	無名橋（高速側道東線）	島田ほか	〃	
	無名橋（百間町鶉ノ木線）	鶉ノ木	〃	
	無名橋（高速側道東線）	手宮ほか	〃	
	無名橋（上三分一 1 号線）	上三分一	〃	

地区	橋梁名（路線名）	施工地	実施内容	位置図 ページ
頸城区	無名橋（舟津手宮線）	手宮	修繕工事	51
板倉区	無名橋（山越谷内線）	山越	〃	54
名立区	丹蔵川橋（山王線）	名立小泊	〃	55
	新赤野俣橋（脇の谷道下線）	赤野俣	〃	
	名立橋（名立大町小泊線）	名立大町	〃	

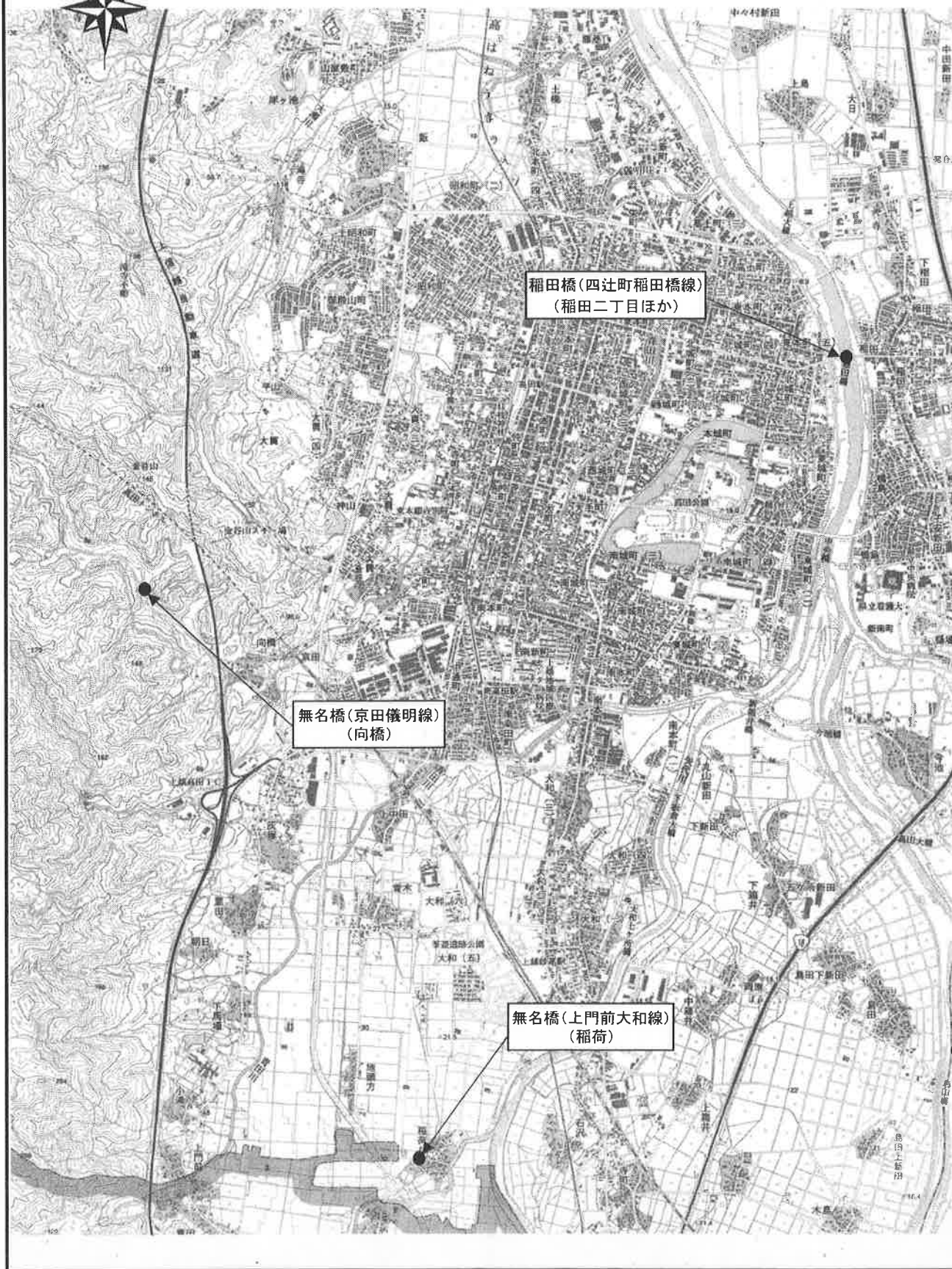
その他業務

地区	橋梁名（路線名）	施工地	実施内容
安塚区	芹田橋（安塚石橋和田線）	小黒	実施設計 一式
浦川原区	中央橋（藤塚線）	長走	
	横住橋（上横住線）	横住	
大瀧区	瀧町歩道橋（大瀧 329 号線）	瀧町	用地測量 1,100 m ² 用地取得 一式 物件補償 一式
中郷区	稻荷山橋（稻荷山松ヶ峯線）	稻荷山ほか	実施設計 一式
清里区	岡川橋（岡野町馬屋中央線）	岡野町	
市内一円	上重川橋ほか 301 橋	横曾根ほか	橋梁点検

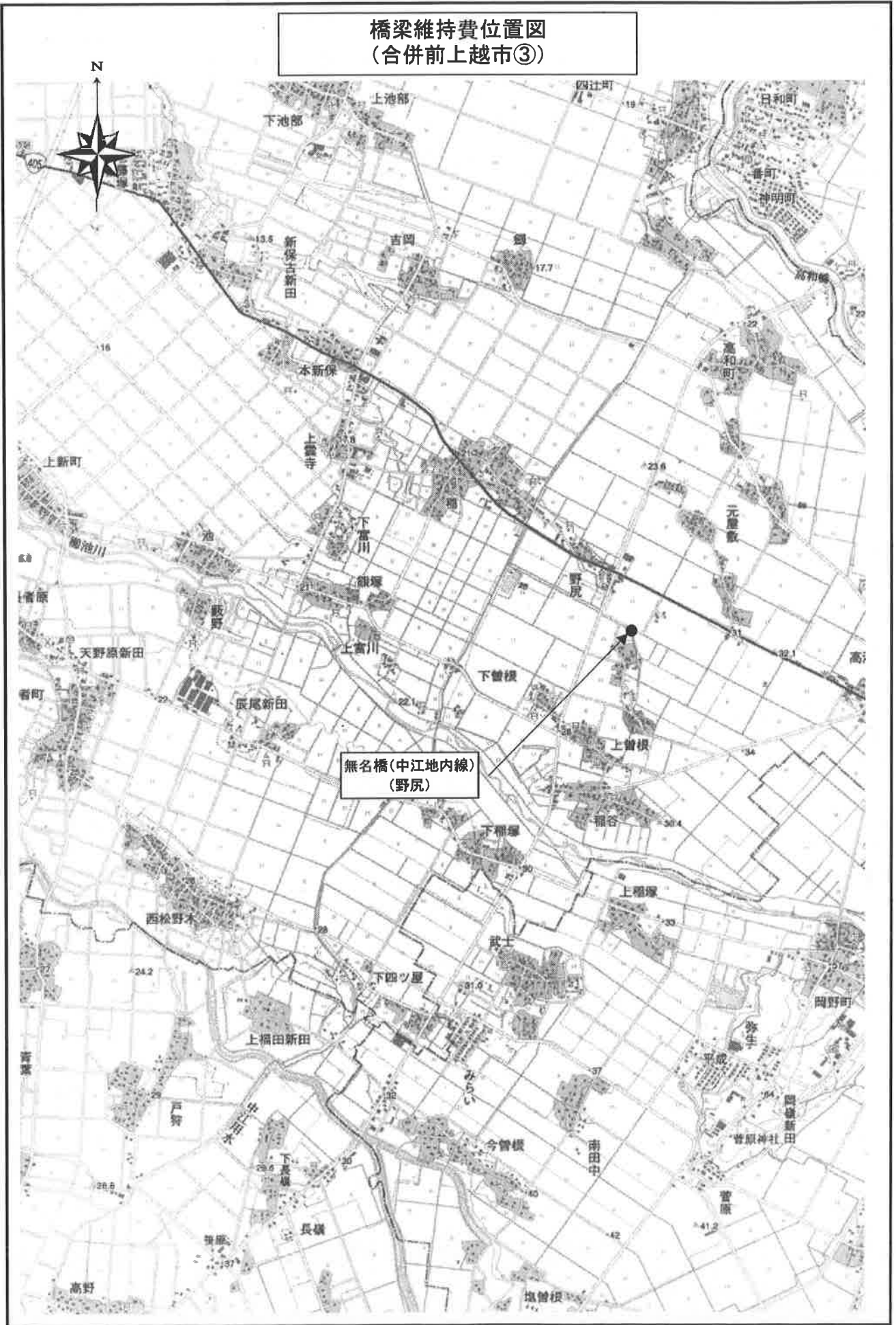
橋梁維持費位置図
(合併前上越市①)



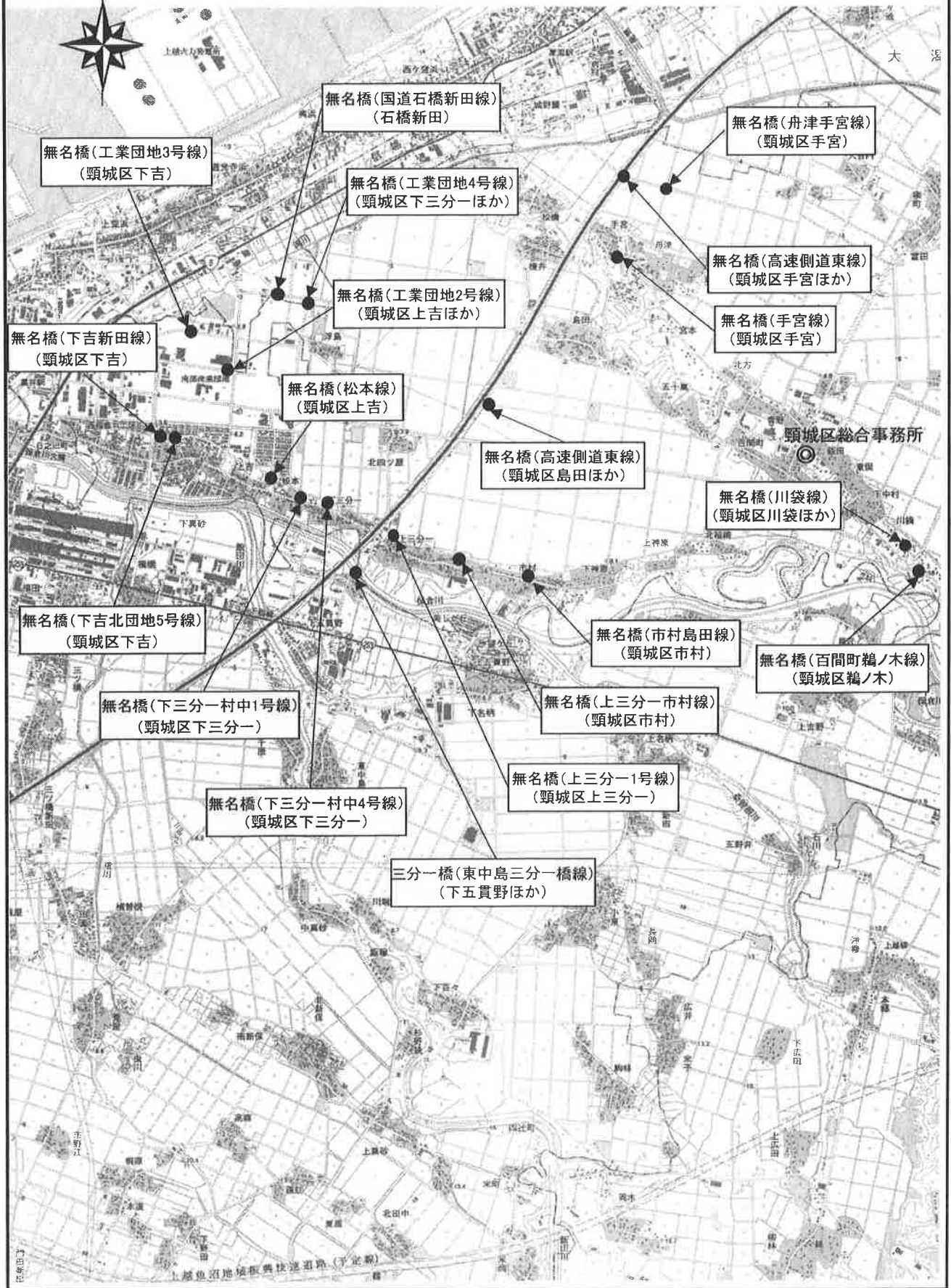
橋梁維持費位置図
(合併前上越市②)



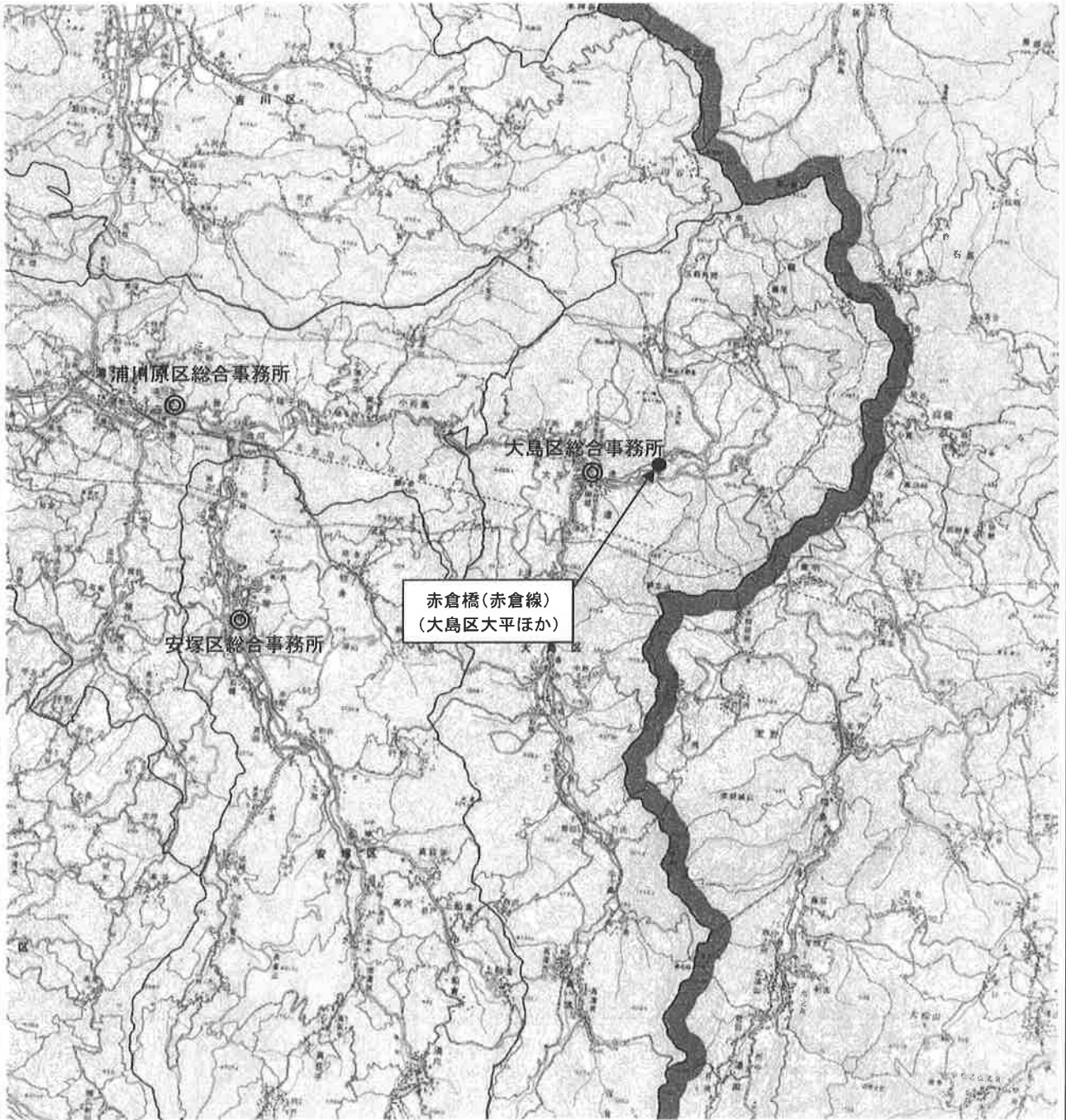
橋梁維持費位置図
(合併前上越市③)



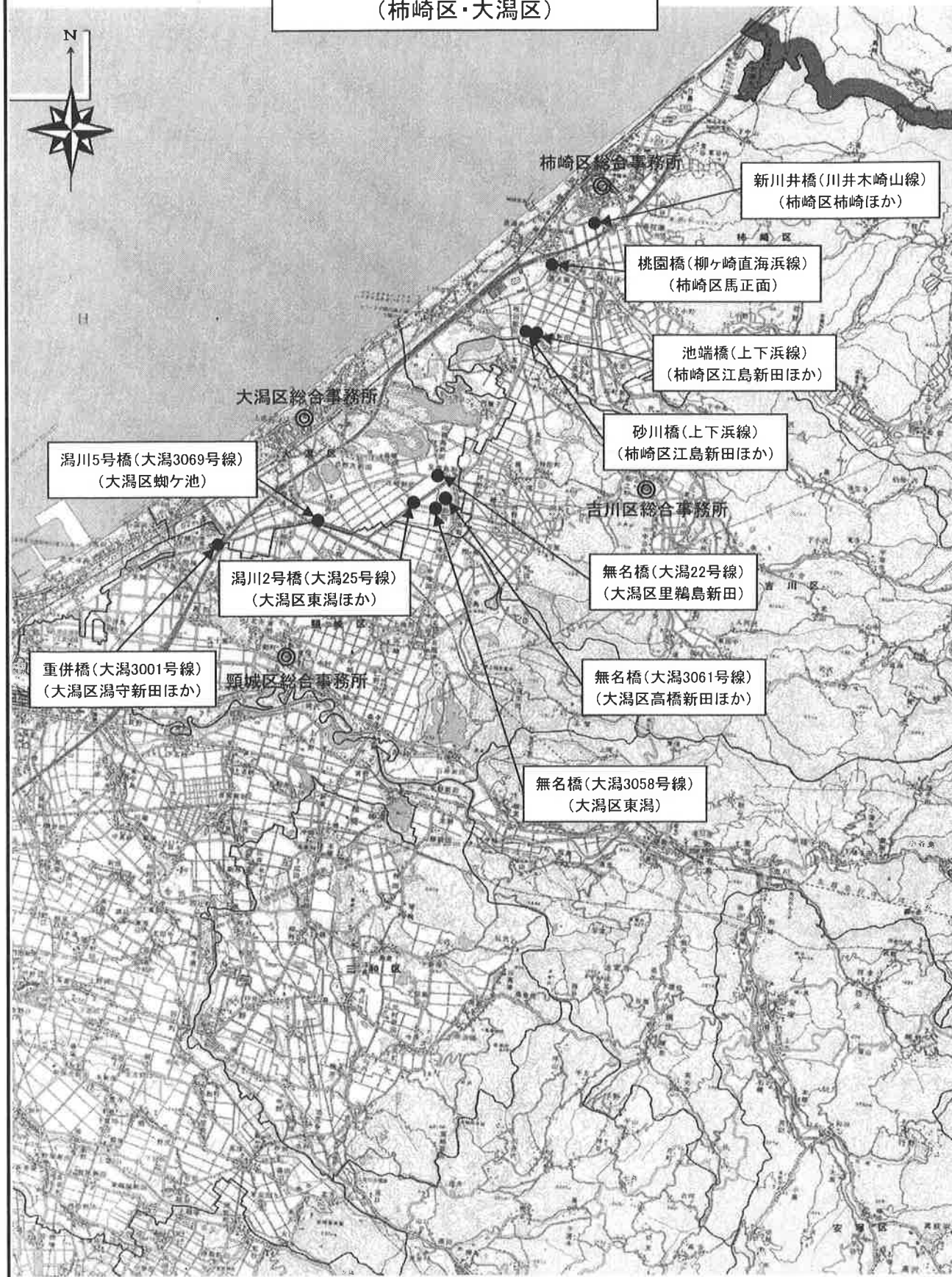
橋梁維持費位置図
(合併前上越市④・頸城区)



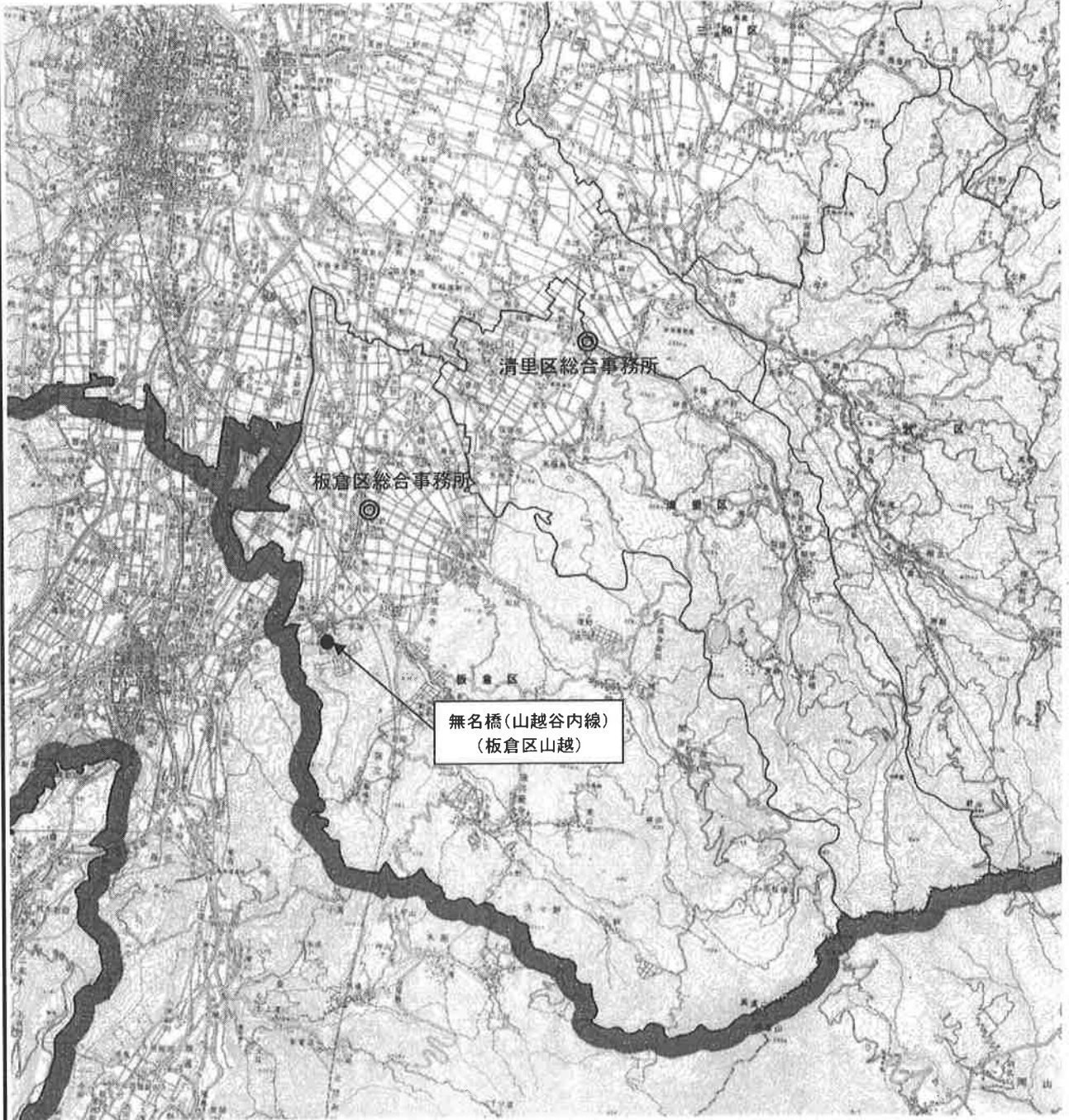
橋梁維持費位置図
(大島区)



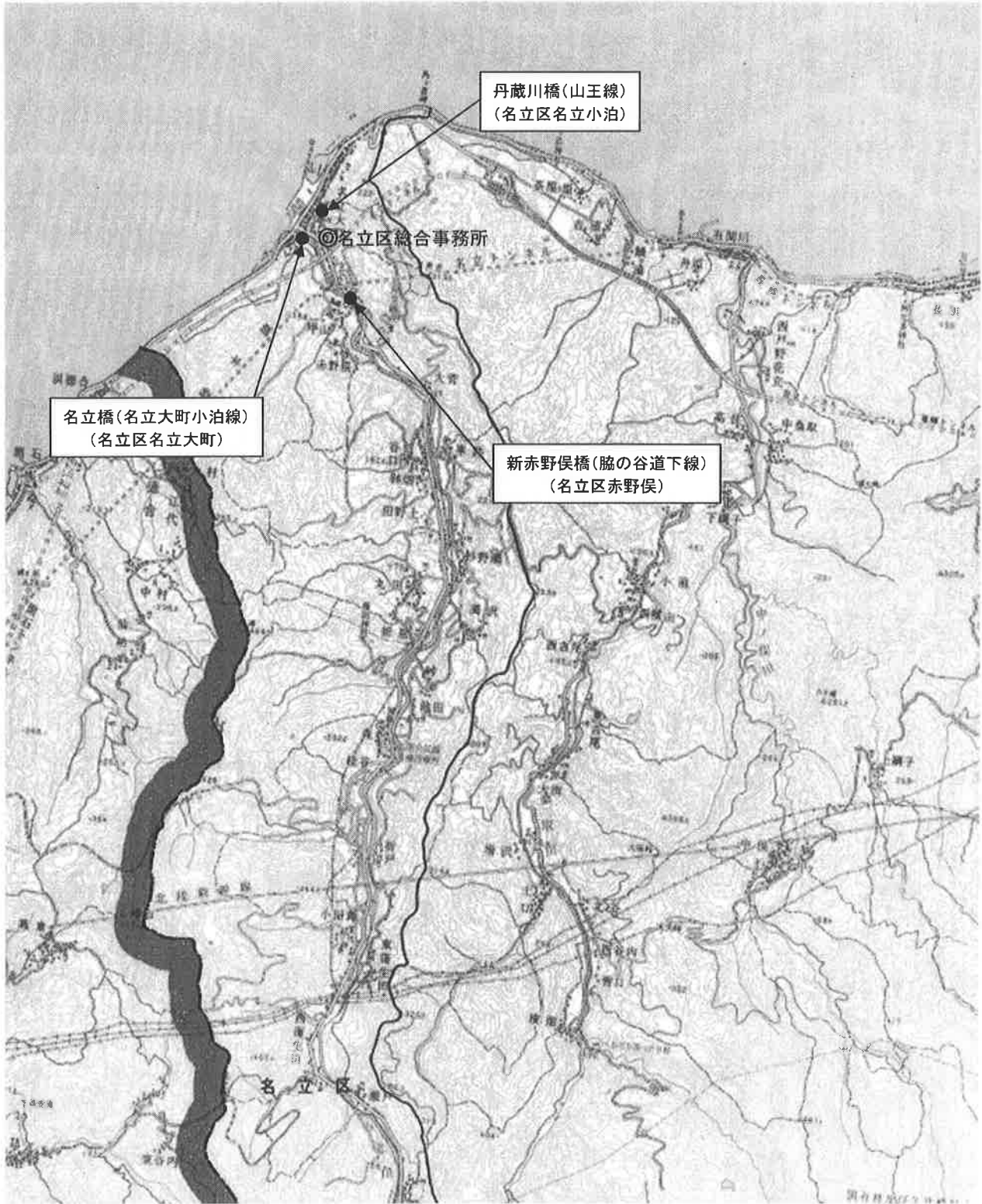
橋梁維持費位置図
(柿崎区・大潟区)



橋梁維持費位置図
(板倉区)



橋梁維持費位置図
(名立区)



歳出科目 (P270～P271)	8 款 2 項 5 目	橋梁新設改良費
------------------	-------------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
橋梁整備事業	186,117	309,530	△123,413

主な財源		主な経費	
国庫支出金	101,200	委託料	1,931
市債	74,600	工事請負費	183,766
一般財源	10,317	補償、補填及び賠償金	420

交通の利便性と安全性を高めるため、狭隘な橋梁、老朽化した橋梁の拡幅架け替えを行うとともに、災害に強いまちづくりを進めるため、幹線市道の橋梁の耐震化を実施するもの

【目的】

狭隘な橋梁、老朽化した橋梁の拡幅架け替えや、災害発生時における地域の分断を防止するなど通行の確保が必要とされる橋梁の耐震化を図り、災害に強く快適に通行できる橋梁を確保する。

【31 年度目標】

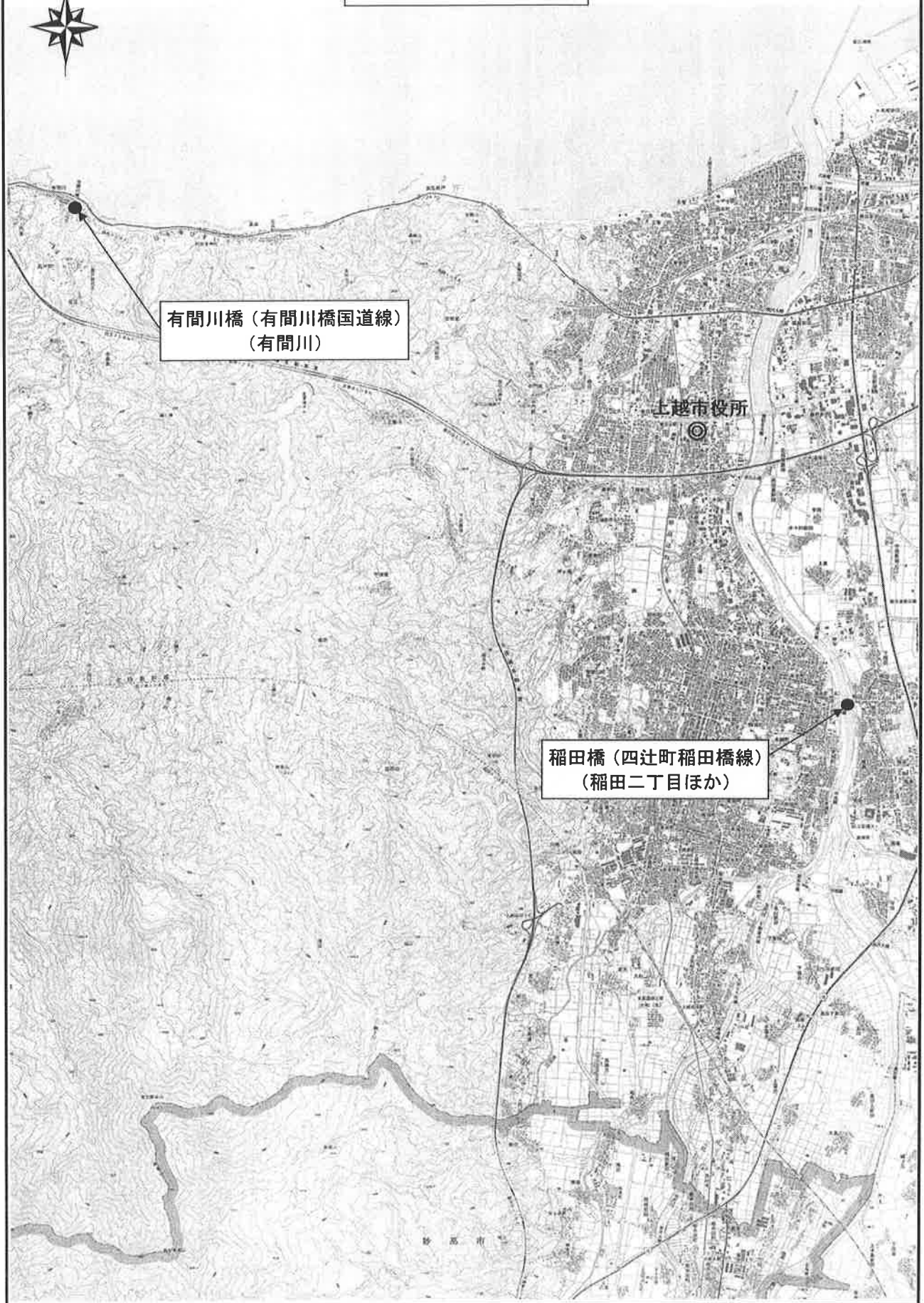
工事については、早期に発注し、河川占用協議により許可を受けた期間内に完了する。

【実施内容】

合併前上越市で事業を実施（2 か所）

地区	橋梁名（路線名）	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	有間川橋（有間川橋国道線）	有間川	旧橋撤去 一式	57
	稲田橋（四辻町稲田橋線）	稲田二丁目ほか	上部工変位制限装置 N=24 基	

橋梁整備事業位置図
(合併前上越市)



有間川橋 (有間川橋国道線)
(有間川)

上越市役所

稲田橋 (四辻町稲田橋線)
(稲田二丁目ほか)

歳出科目 (P272～P273)	8款2項6目	除雪費
------------------	--------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
消融雪施設管理費	277,569	162,612	114,957

主な財源		主な経費	
国庫支出金	99,624	市債	33,200
県支出金	15,928	一般財源	128,727
諸収入	90	需用費	52,200
		役務費	1,139
		委託料	64,564
		工事請負費	157,891
		負担金補助及び交付金	1,100

降雪期における市民の安全・安心を確保するため、消雪パイプや流雪溝などの修繕等を実施し、継続して施設を利用できる体制を整えるもの

【目的】

冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、消雪パイプの更新を行うとともに、消融雪施設が所期の能力を発揮し良好に稼働するよう、適切な維持管理を行う。

【31年度目標】

- ・消融雪施設整備計画に基づき、効率的かつ効果的な整備を行う。
- ・消融雪施設の冬期前点検と冬期間における迅速な修繕を行うなど、適切な維持管理と効果的な運用を図る。

【実施内容】

- ・消融雪施設管理 119,678
 消融雪施設の点検管理業務委託等を実施し、効果的な施設管理を行う。
 市道消雪パイプ延長 L=73 km 市道流雪溝延長 L=17 km
- ・消融雪施設修繕工事 20,873
 消雪パイプや流雪溝などの老朽化及び破損等に伴う不具合箇所の修繕工事を実施し、施設の機能を維持する。

地区	修繕工事内容
合併前上越市、浦川原区、柿崎区、大潟区、頸城区、中郷区、板倉区、清里区、三和区	消雪パイプノズル交換及び漏水修繕 流雪溝修繕

- ・消雪パイプリフレッシュ工事 137,018
 老朽化した消雪パイプの機能を回復するため、施設の更新を行う。

地区	路線名	施工地	主な実施内容	位置図ページ
柿崎区	桐畑線ほか	柿崎	消雪井戸更新 1か所	60

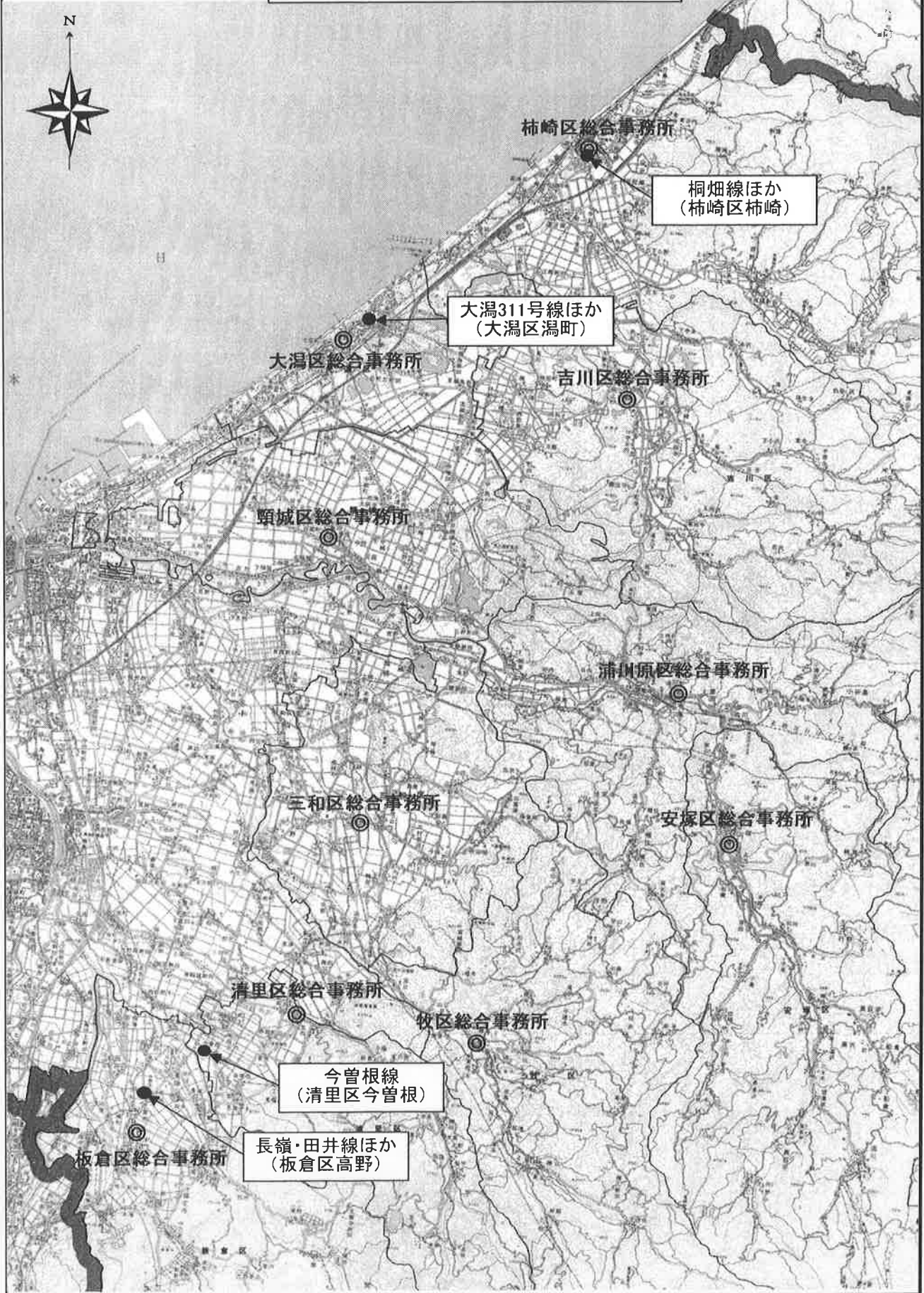
地区	路線名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
大潟区	大潟 311 号線ほか	潟町	消雪井戸更新 1 か所 消雪パイプ更新 L=278m	60
中郷区	金山中央 1 号線	二本木	消雪井戸更新 1 か所	61
	岡沢中央線	岡沢	消雪井戸更新 1 か所	
板倉区	長嶺・田井線ほか	高野	消雪パイプ更新 L=310m	60
清里区	今曾根線	今曾根	消雪井戸更新 1 か所	

※ 前頁の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。
ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

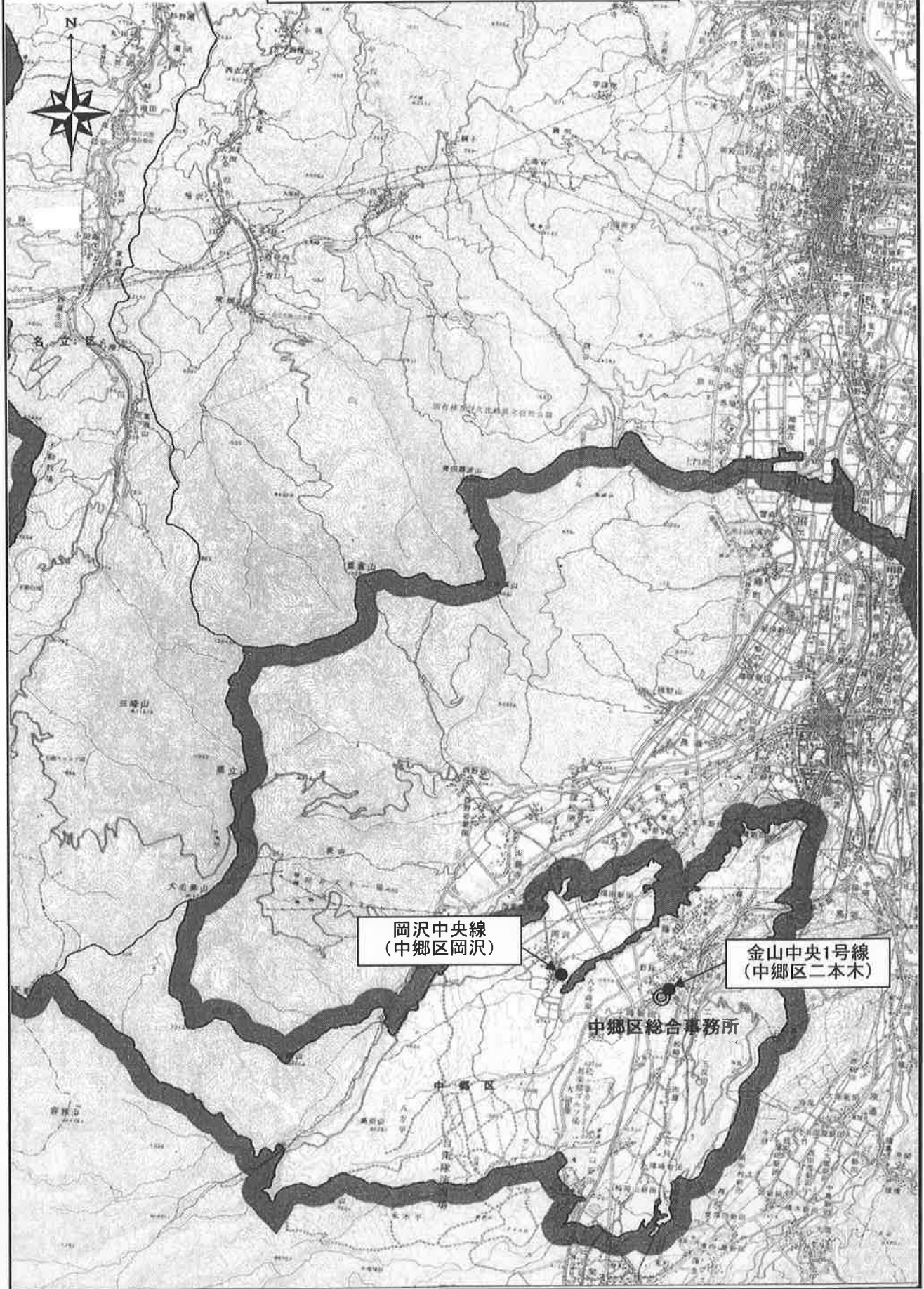
本年度			前年度			比較
平成 30 年度 3 月補正予算額 (※)	当初予算額	合計	平成 29 年度 3 月補正予算額	当初予算額	合計	
0	277,569	277,569	98,394	162,612	261,006	16,563

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

消融雪施設管理費位置図
 (柿崎区、大潟区、板倉区、清里区)



消融雪施設管理費位置図
(中郷区)



歳出科目 (P272～P273)	8 款 2 項 6 目	除雪費
------------------	-------------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
除雪費	2,729,491	2,525,497	203,994

主な財源		主な経費	
国庫支出金 635,415	諸収入 7,375	需用費 181,327	備品購入費 205,369
県支出金 137	市債 66,200	委託料 2,319,350	負担金補助及び交付金
財産収入 465	一般財源 2,019,899	工事請負費 4,335	2,950

冬期間の道路交通を確保するため、除雪機械による除雪を行い市民生活の安全・安心を確保するもの

○市道除排雪事業 2,726,541

【目的】

冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、適切な除排雪作業を行うとともに、路面凍結防止対策を実施する。

【31年度目標】

通常降雪時の除雪作業は、概ね午前7時前に完了させ、通勤通学時間帯の円滑な道路交通を確保する。

【実施内容】

- ・ 除雪計画で決定した除雪路線区分及び除雪出動判断基準に基づき除雪を行う。
- ・ 凍結のおそれがある場合は、散布車により凍結防止剤を散布する。
- ・ 除雪機械8台を更新し、迅速な除雪体制を維持する。

除雪機械更新内訳

車種	台数	配置区
除雪ドーザ 11～18t 級	6	合併前上越市、牧区、柿崎区2台、吉川区、板倉区
小型ロータリ除雪車 1.3m級	1	吉川区
小型除雪機 20PS 級	1	名立区

○小型除雪機購入費補助事業 2,400

【目的】

除雪車が入れない狭隘な道路や高齢者宅前などを、地域の住民が共同で除雪する場合、小型除雪機の購入代金の一部を補助することで、冬期間の道路交通を確保するとともに共助の精神を醸成する。

【31年度目標】

広報等により補助制度を周知するとともに、降雪前までの納入を図る。

【実施内容】

- ・補助率
購入費の40%以内 (1台につき80万円限度)
- ・補助金交付予定台数 3台

○除雪オペレーター雇用促進事業補助金 550

【目的】

除雪事業は豪雪地域である当市において欠くことのできないものであるが、近年、建設業界では若年層の雇用が進まない現状から、除雪オペレーターの高齢化が深刻な問題となっている。

このことから、市道の除雪オペレーターに従事を希望する40歳未満の若年層に対し、資格取得に係る経費の一部を補助する。

【31年度目標】

広報等によるPRを行い、若年層オペレーターの雇用促進を図る。

【実施内容】

- ・補助対象となる資格
 - (1) 大型特殊自動車免許
 - (2) 運転技能講習
- ・補助率
資格取得に要した経費の1/2 (1名につき5万円限度)
- ・補助金交付予定人数 11名

提出課	建築住宅課
-----	-------

歳出科目 (P 272～P 275)	8 款 2 項 7 目	克雪総合計画費
--------------------	-------------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
克雪住宅推進費	10,340	10,670	△330

主な財源		主な経費	
国庫支出金	2,585	負担金補助及び交付金	
県支出金	5,170		10,340
一般財源	2,585		

特別豪雪地帯内の指定地域において、雪下ろしに伴う負担軽減及び危険防止を図り、もって冬期間の住環境の改善等を図るため、克雪住宅の整備に要する経費の一部を補助するもの

【目的】

克雪住宅の整備を支援し、雪下ろしによる負担の軽減及び危険防止を図る。

【31 年度目標】

広報上越や市ホームページ等を活用し、制度活用に向けた周知を図るとともに、降雪前に工事が完了するよう申請書受理後は速やかに交付決定を行う。

【実施内容】

- ・対象地域……大潟区及び頸城区を除く全市
- ・克雪すまいづくり支援事業補助金

区分	補助額	件数	計
融雪式	440	1	440
耐雪式、落雪式等	330	30	9,900
計	—	31	10,340

歳出科目 (P274~P275)

8 款 3 項 1 目

河川総務費

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
河川管理費	29,111	31,806	△2,695

主な財源		主な経費	
国庫支出金	1,438	報酬	340
県支出金	1,316	需用費	909
諸収入	9	委託料	15,605
	一般財源 26,348	使用料及び賃借料	677
		工事請負費	9,857
		負担金補助及び交付金	655

市管理河川等の維持管理を実施するほか、関係機関及び関係団体と連携し、河川事業の促進や環境保全に向けた施策を実施するもの

【目的】

河川及び河川公園の機能を適切な状態に保つよう維持管理を行うとともに、増水時には排水樋門や排水ポンプ等について適確な運転操作を実施し、内水被害の防止に努める。

また、地元関係団体等の活動を支援し、河川改修の促進や環境美化の向上を図る。

【実施内容】

- | | |
|-------------|-------------------|
| ・ 樋門等維持管理委託 | 排水樋門や排水ポンプの操作 |
| ・ 河川等維持管理委託 | 市管理河川、河川公園等の清掃、除草 |
| ・ 河川等維持工事 | 市管理河川等の維持・修繕工事 |
| ・ 負担金 | 各種同盟会や協議会への負担金 |

歳出科目 (P274～P275)	8款3項1目	河川総務費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
砂防事業費	17,657	17,579	78

主な財源		主な経費	
県支出金	14,119	報酬	14,820
一般財源	3,538	需用費	819
		委託料	674
		負担金補助及び交付金	1,035

上越地域は全国有数の地すべり地帯であることから、地すべり発生危険区域において巡視活動を実施するほか、地すべり資料館の管理運営を行うなど、砂防に係る事業や施策を実施するもの

○地すべり巡視業務 12,639

【目的】

人家15戸以上の地すべり指定地のうち、地形地質的に地すべり発生危険性が大きい区域において巡視活動を行い、地すべりの兆候や土砂の崩落を早期に発見し、土砂災害を未然に防止する。

【実施内容】

新潟県の地すべり巡視員制度に基づき、市内112か所の地すべり危険区域において、96名の地すべり巡視員を配置し、年間40日間の巡視活動を実施する。

○地すべり資料館の維持管理 2,933

【目的】

土砂災害に対する啓発を目的とした地すべり資料館(板倉区猿供養寺地内)について、新潟県から委託を受けて施設の維持管理を行う。

【実施内容】

地すべり資料館の維持管理業務

○急傾斜地崩壊対策事業負担金 200

【目的】

法面崩壊のおそれがある急傾斜地(中郷区江端地内)において、斜面の安定を図るため、法面对策を実施し、土砂災害を未然に防止する。

【実施内容】

新潟県が主体となり実施する急傾斜地崩壊対策事業について、市負担金を支出する。

提出課	都市整備課
-----	-------

歳出科目 (P278～P279)	8款5項3目	公園費
------------------	--------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
都市公園整備事業	133,588	81,125	52,463

主な財源		主な経費	
国庫支出金	62,100	委託料	10,411
市債	46,200	工事請負費	123,177
一般財源	25,288		

憩いとコミュニケーションの場としての安全・安心な公園を整備するもの

○都市公園整備事業 10,908

【目的】

利用者の安全・安心に配慮した施設整備を推進する。

【31年度目標】

工事については、早期に発注し、11月末までに完了する。

【実施内容】

遊具更新工事

- 春日新田公園 N=1基
- 中島公園 N=2基
- お馬出し公園 N=1基
- 寺の前公園 N=1基
- 池之原公園 N=1基

○高田公園整備事業 93,461

【目的】

多くの市民に親しまれる文化と交流の拠点、水と緑のオアシスとなる憩いの場として、公園整備を推進する。

【31年度目標】

工事及び測量設計については、早期に発注し、11月末までに完了する。

【実施内容】

- ・ひょうたん池周辺測量、実施設計業務 一式
- ・内堀護岸築造工事 L=257m
- ・園路改築工事 L=760m

○五智公園整備事業 29,219

【目的】

希少な植物など豊富な自然資源をいかし、多世代の交流の拠点として、魅力向上に向けた公園整備を推進する。

【31年度目標】

工事については、早期に発注し、11月末までに完了する。

【実施内容】

- ・交通公園遊具等更新工事
 - 遊具 N=2 基
 - 東屋 N=1 基
- ・散策路整備工事
 - 散策路 L=72m
 - 階段 N=80 段

※ 前頁の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。
 ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
平成 30 年度 3 月補正予算額 (※)	当初予算額	合計	平成 29 年度 3 月補正予算額	当初予算額	合計	
0	133,588	133,588	52,000	81,125	133,125	463

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

歳出科目 (P278～P279)	8款5項3目	公園費
------------------	--------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公園管理費	208,042	210,484	△2,442

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	4,560	報酬	17,338
国庫支出金	3,246	報償費	15,422
財産収入	4,575	需用費	61,436
寄附金	5	委託料	98,426
諸収入	299	使用料及び賃借料	3,010
一般財源	195,357	備品購入費	4,005

憩いとコミュニケーションの場として、安全で快適に利用できるよう都市公園等の維持管理を行うもの

○都市公園等の維持管理事業 172,951

【目的】

都市公園等の維持管理を適切に行い、利用者の安全を確保し、良好な環境を提供する。

【実施内容】

- ・除草、清掃、樹木管理、遊具修繕等の維持管理を実施する。

内訳：合併前上越市	142 箇所	235.7ha
柿崎区	3 箇所	13.9ha
大潟区	28 箇所	11.8ha
頸城区	5 箇所	3.2ha
計	178 箇所	264.6ha

- ・都市公園施設長寿命化計画に基づく計画的な維持管理を行い、予防保全型管理に努める。
- ・遊具の安全点検を年3回（4月、7月、10月）実施する。
- ・交通公園のゴーカートを運行する。（運行日は、4月から11月までの土曜日、日曜日、祝日。ただし、夏休み期間は月曜日を除く毎日。）
- ・市内12か所のこどもプールを開設する。（7月25日から8月25日まで）

○パークパートナーシップ事業 15,346

【目的】

地域との協働により身近な公園の管理を行い、良好な環境を維持する。

【実施内容】

- ・街区公園等の管理を、市と町内会等が協働で実施する。
- ・町内会等は、主に除草、トイレ清掃及び日常点検を実施する。

○高田公園樹木保守管理事業 19,745

【目的】

憩いの場である高田公園内の桜や松を健全な状態で維持する。

【実施内容】

- ・薬剤の樹幹注入による松くい虫防除を実施する。
- ・高田公園桜長寿命化計画（第二期）に基づき、桜プロジェクトJ（市民ボランティア）の協力を得ながら高田公園の樹木の保全活動を行うほか、計画的な植替え、樹勢回復のための手当てを行う。

歳出科目 (P280~P281)	8 款 5 項 4 目	市街地整備費
------------------	-------------	--------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
市街地整備事業	4,260	8,034	△3,774

主な財源		主な経費	
国庫支出金	2,118	報償費	230
一般財源	2,142	旅費	88
		委託料	3,942

立地適正化計画に基づき、都市機能及び定住基盤の充実とまちの魅力向上に向けた取組を推進するもの

○まちなか居住推進 4,238

【目的】

人口減少の中にあっても持続可能な都市を目指し、定住人口の増加に向けた取組により、まちなか居住を推進する。

【31年度目標】

高田地区において、地元と一体となったまちづくりの検討を進める。

【実施内容】

アドバイザーを活用した、地元とのまちづくり検討

○まちなか高度利用整備 22

【目的】

まちの活性化や定住を促進するため、民間事業者への支援により誘導重点区域の高度利用化を図る。

【31年度目標】

市ホームページのほか、平成30年度末までに作成するリーフレットを活用し、民間事業者に対し事業制度の周知を図るとともに、事業の申請があった場合には第三者で構成する委員会による事業の審査を完了し、平成32年度の事業着手につなげる。

【実施内容】

制度の周知及び事業の審査

提出課	生活排水対策課
-----	---------

歳出科目 (P 280～P 281)	8 款 6 項 2 目	排水路対策費
--------------------	-------------	--------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
排水路維持管理費	24,367	18,917	5,450

主な財源		主な経費	
一般財源	24,367	需用費	2,799
		委託料	5,047
		工事請負費	15,776

市が管理する法定外公共物（水路）等の排水機能を維持し、生活環境の保全及び内水被害の軽減に努め、市民生活の安全・安心を確保するもの

【目的】

生活環境の保全及び内水被害の軽減を図るため、排水路の適切な維持管理を行う。

【31 年度目標】

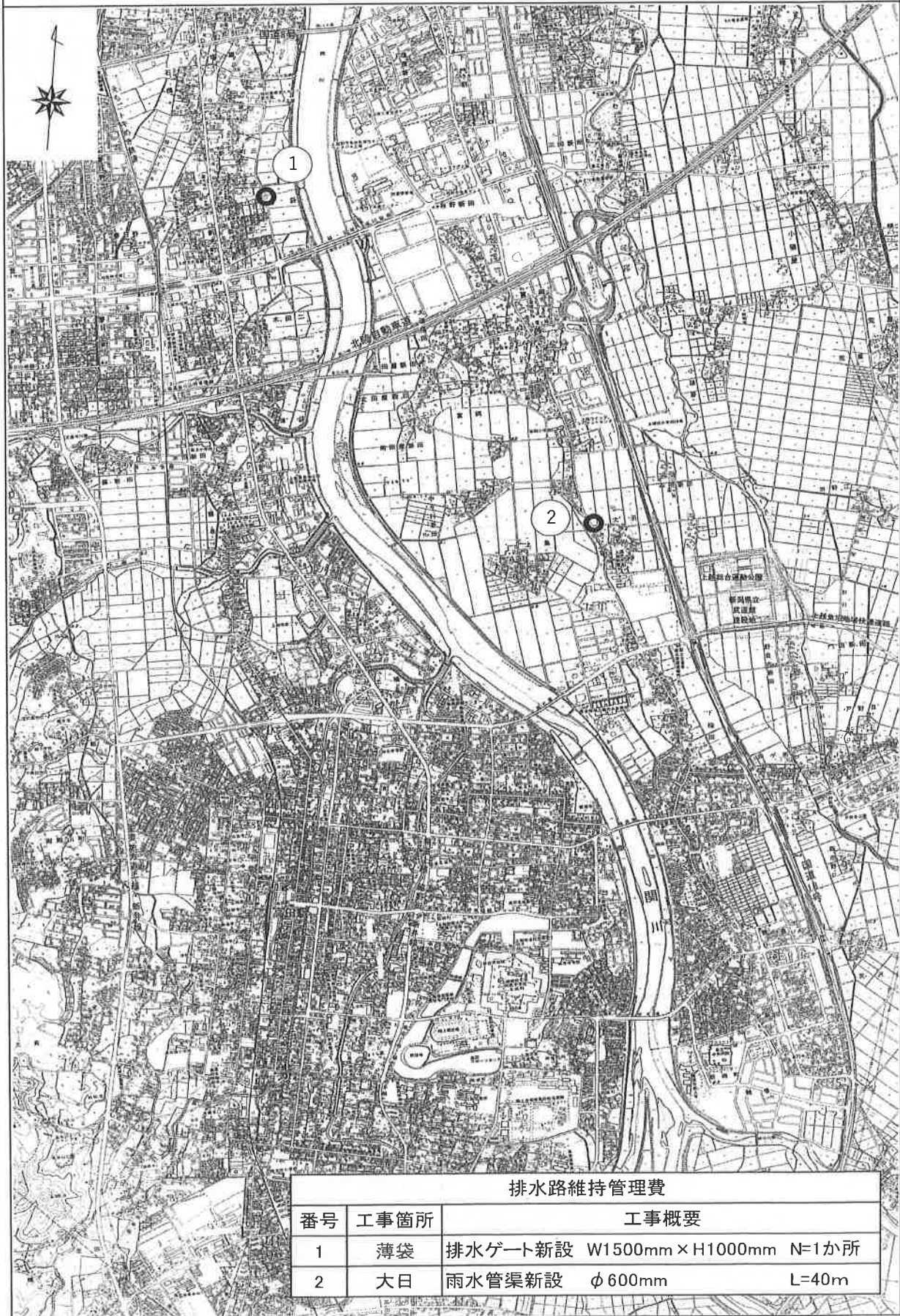
- ・排水路の清掃及び修繕等を実施し、排水機能を確保する。
- ・排水路工事については、関係機関と施工時期等の調整を行い、年度内に完了する。

【実施内容】

- ・排水路修繕 2,529
- ・排水路清掃業務委託 4,934
- ・排水路工事 15,776

内容	場所	規格等	数量
排水路工事	薄袋	排水ゲート新設 W1500 mm×H1000 mm	N=1 か所
	大日	雨水管渠新設 φ 600 mm	L=40m

平成31年度 排水路維持管理費（工事予定箇所図）



排水路維持管理費		
番号	工事箇所	工事概要
1	薄袋	排水ゲート新設 W1500mm×H1000mm N=1か所
2	大日	雨水管渠新設 φ600mm L=40m

提出課	建築住宅課
-----	-------

歳出科目 (P280～P283)	8款7項1目	住宅管理費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公営住宅管理運営費	125,722	127,300	△1,578

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	94,864	報酬	5,509
一般財源	2,023	委託料	39,882
県支出金	28,338	需用費	64,207
諸収入	497	役務費	6,545
		使用料及び賃借料	5,726
		備品購入費	2,023

入居者が安全かつ安心して暮らすことができる居住環境の整備を図るため、老朽化した施設及び設備の改善などを行うもの

【目的】

公営住宅の施設・設備が常に良好な状態となるよう適正な維持管理を行い、入居者が安全・安心に暮らすことができる居住環境を提供する。

【31年度目標】

入居者の安全・安心の確保に向け、修繕等については引き続き迅速な対応に努める。

【実施内容】

内 容	年 度		比 較
	H31	H30	
① 老朽化した施設の改善等	59,581	70,041	△10,460
住宅の建具・給排水設備・電気設備等の修繕、改修	50,037	60,203	△10,166
畳入替え修繕	6,567	7,824	△1,257
住宅用火災警報器の入替え	2,977	2,014	963
② 安全・安心を確保するための維持管理等	30,450	27,626	2,824
消防設備点検業務委託	13,722	11,348	2,374
エレベーター保守点検業務委託	6,267	6,209	58
自動ドア保守点検、LSAシステム点検業務委託	544	523	21

内 容		年 度		比 較
		H31	H30	
	実施場所等			
遊具点検、貯水槽・浄化槽管理等業務委託	遊具…今泉ほか5か所 貯水槽…南新町ほか7住宅	4,183	4,296	△113
住宅補修工事		0	773	△773
公営住宅休日夜間等緊急対応業務委託		3,719	3,494	225
市営住宅定期点検業務委託	市営津止住宅1棟ほか22棟	2,015	983	1,032
③	その他維持管理等	35,691	29,633	6,058
	公営住宅維持管理員等の人件費及び旅費	6,582	6,430	152
	需用費、使用料及び賃借料、原材料費等	29,109	23,203	5,906

※ LSA システム … 単身高齢者等を対象に、生活援助員（ライフ・サポート・アドバイザー：略称 LSA）による自立支援と、緊急時に対応する通報機器を含めた一連の支援システム

歳出科目 (P 282～P 283)	8 款 7 項 1 目	住宅管理費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
空き家等管理促進事業	18,975	15,105	3,870

主な財源		主な経費	
国庫支出金	7,224	報酬	1,370
県支出金	100	委託料	7,948
一般財源	11,651	需用費	242
		役務費	1,066
		負担金補助及び交付金	7,619

防災、防犯、衛生、景観等の市民の生活環境を保全し、魅力あるまちづくりの推進に寄与するため、空き家等の適切な維持管理及び利活用の促進を図るもの

【目的】

空き家の所有者等が行う「適正管理」や「利活用」を支援するとともに、「空き家化予防」に向けた取組等を実施し、市民の安全・安心な生活を確保する。

【31年度目標】

- ・「空き家等対策計画」に基づく除却・利活用等の支援制度を周知するほか、特定空き家等の所有者等への是正措置を行い、特定空き家等の削減に努める。
- ・空き家情報バンク制度を周知し、利活用の促進に努める。
- ・空き家化予防の取組を進め、空き家発生の抑制に努める。

【実施内容】

- ・空き家等対策協議会を開催し、特定空き家等の認定を行うとともに、特定空き家等の所有者等に対して必要な措置を行うよう助言、指導等を実施する。
- ・周囲に危険を及ぼす可能性のある所有者不明の空き家に対し、代執行を含め必要最小限の緊急安全対策を行う。
- ・空き家等の解消や有効活用を促進するため、空き家化予防の取組や空き家情報バンクを運用するほか、補助金を交付する。

区分	補助金額等	補助対象要件
特定空き家等 除却費補助金	補助率 1/2 上限 500 千円	住民税非課税世帯及び低所得者世帯による特定空き家等の除却
空き家等 除却費補助金	補助率 1/2 上限 500 千円	跡地が地域活性化に供される空き家等の除却
空き家定住促進 利活用補助金	補助率 1/3 上限 500 千円	移住に伴い購入した空き家のリフォーム (県外からの移住、子育て世帯等補助額加算)
空き家活用のための家財道具等処分 費補助金	補助率 1/2 上限 200 千円	「空き家情報バンクに登録した空き家」の家財道具等の処分
定住促進生家等 利活用補助金	補助率 1/3 上限 500 千円	移住に伴う生家等のリフォーム (県外からの移住、子育て世帯等補助額加算)

歳出科目 (P 282～P 283)	8 款 7 項 1 目	住宅管理費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
町家シェアハウス管理運営費	1,427	2,048	△621

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	257	報酬	18
国庫支出金	205	需用費	556
諸収入	759	役務費	5
一般財源	206	委託料	592
		使用料及び賃借料	253
		負担金補助及び交付金	3

学生等と地域で暮らす人々との交流を通じて地域の活性化を図り、にぎわいと活力のある地域社会の形成に寄与するため、シェアハウスの維持管理を行うもの

【目的】

入居者と地域住民との交流を通じた地域の活性化と町家の市場流通の促進を図る。

【31 年度目標】

- ・シェアハウス大町の適切な維持管理に努める。
- ・地域の活性化に向け、入居者と地域住民との交流を支援する。
- ・市民等へ町家の利活用に関する情報等を提供し、町家の市場流通の促進につなげる。

【実施内容】

- ・定期的に施設の点検を行い、不具合等の早期改善に努め、快適な居住環境を提供する。
- ・共同生活の不安等の解消に努めるため、定期的に入居者と面談を行うとともに、地域の活性化につながるイベントや交流を支援する。
- ・町家の魅力、活用方法等について広くPRするため、町家の利活用につなげる建築士等向けのセミナー・講習会などを開催する。

歳出科目 (P282～P283)	8 款 7 項 2 目	住宅整備費
------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公営住宅整備事業	246,226	234,495	11,731

主な財源		主な経費	
国庫支出金	122,611	委託料	1,003
市債	122,500	工事請負費	245,223
一般財源	1,115		

入居者が安全・安心に暮らすことができる居住環境の維持・向上を図るため、上越市公営住宅等長寿命化計画に基づき計画的な改修等を行うもの

【目的】

公営住宅等長寿命化計画に基づき、施設・設備の改修等を行い、入居者の居住環境の維持・向上を図る。

【31 年度目標】

工事の年内完了に向け、早期発注に努める。

【実施内容】

工事名	工事概要	施設概要
市営南新町住宅G棟 外壁等改修工事	外壁改修、ベランダ防水等	昭和 53 年度建設 中層耐火構造鉄筋 5 階建 1 棟 30 戸
市営南新町住宅H棟 外壁等改修工事	外壁改修、ベランダ防水等	昭和 54 年度建設 中層耐火構造鉄筋 5 階建 1 棟 30 戸

歳出科目 (P 282～P 283)	8 款 7 項 2 目	住宅整備費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
住宅リフォーム促進事業	76,820	76,793	27

主な財源		主な経費	
一般財源	76,820	報酬	1,235
		共済費	202
		需用費	54
		役務費	281
		負担金補助及び交付金	75,000

市内経済の活性化と市民の居住環境の向上を図るため、リフォーム工事費用の一部を補助するもの

【目的】

住宅リフォーム工事を支援することで、市内経済の活性化と市民の居住環境の向上を図る。

【31 年度目標】

広報上越や市ホームページ等を活用し、制度活用に向けた周知を図るとともに、補助金交付事務を適切に行い、年度内に交付を完了する。

【実施内容】

受付期間・ 交付決定等	<p>受付期間：前期 … 平成 31 年 4 月 15 日（月）～ 5 月 10 日（金）予定 後期 … 平成 31 年 9 月 17 日（火）～ 10 月 10 日（木）予定</p> <p>※リフォーム工事の年間の平準化を図るため、消費税率引上げ前の駆け込み需要と、消費税率引上げ後の消費の冷え込みの双方への対応として、受付を前期・後期に分け実施</p> <p>※申請額の総額が補助額を超過した場合は抽選とする。なお、前期の補助額に残額が生じた際は、後期に合算する。また、当選者の事由により工事を中止した時の対応として、補欠当選者を定めておく。</p>	
補助額	7,500 万円（前期 3,800 万円、後期 3,700 万円）	
件数	750 件（前期 380 件、後期 370 件）（見込み）	
補助率	対象工事費の 20%（消費税込み 200 千円以上の工事が対象）	
補助額	10 万円限度	
補助 対象 者	共通 要件	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市に居住している人 （空き家をリフォームして転居する場合も対象） ・市税の滞納がない人 ・補助対象住宅に住宅用火災警報器を設置している人 ・公共下水道等の供用開始区域内にある住宅について、申請時に公共下水道等への接続が完了済み、又は本事業において接続する人
	個別 要件	<ul style="list-style-type: none"> ・前期 … 消費税率が 8% の工事を行う人 ・後期 … 消費税率が 10% の工事を行う人

補助対象住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象者が所有し、かつ居住している市内の住宅 ・定住を目的に取得した個人所有の市内にある空き家住宅
補助対象工事	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の増築、一部改築、模様替えなどのリフォーム工事（主な補助対象工事は、下記中段の表のとおり。） ・本制度の補助金交付は、同一住宅につき1回とする。（交付決定後の取下者は、工事を実施したものとみなす。）
施工業者	市内に本社を有する法人又は住所を有する個人事業者（ただし、市外に本社を有する法人又は住所を有する個人事業者が建築した住宅をリフォームする場合は、当該事業者も可能とする。）
受付場所	建築住宅課及び各総合事務所

主な補助対象工事一覧（例）

（○：対象、△：条件あり）

リフォーム内容		区分	特記事項
外装工事	屋根の葺替・塗装、外壁の張替・塗装	○	
	サッシ・シャッターの取付・交換	○	
	ベランダ・風除室・ウッドデッキの設置・改修	△	
内装工事	床板・内壁・天井の改修、襖の張替、畳の入替・表替	○	
	玄関・廊下の拡幅、手すりの取付	△	※
	浴室・便所の改良、床の段差解消・滑り止め工事	△	※
設備工事	照明設備・システムキッチン・給湯器の設置・交換	○	
	下水道等つなぎ込み工事	△	※
	エネファーム・エコジョーズの設置・交換	△	※
その他	住宅用附属家（物置・車庫）の改修	△	
	増築・一部改築（住宅・住宅用附属家）	△	
	塀・門の造り替え、道路から玄関までのスロープや手すりの設置、舗装の新設・改修	△	
※市が実施する他の補助制度を利用している場合、その補助対象工事を除く工事について対象とする。			

スケジュール（予定）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
周知			前期・後期									
申請受付	前期						後期					
抽選・交付決定			前期				後期					
引き渡し期間			前期				後期					

提出課	道路課
-----	-----

歳出科目 (P332～P333)	11 款 2 項 1 目	道路橋梁災害復旧費
------------------	--------------	-----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
道路橋梁災害復旧費	13,607	1	13,606

主な財源		主な経費	
一般財源	13,607	工事請負費	13,607

異常気象等が多く、雨や地下水等の影響と思われる道路法面や路肩崩落等の土砂災害が発生していることから、早期に復旧作業を実施するもの

【目的】

被災した市道の復旧工事を早期に行う。

【31 年度目標】

- ・市道牧飯山線の災害復旧工事は、7 月末までに完了する。
- ・市道芋ノ坪切光線の災害復旧工事は、8 月末までに完了する。

【実施内容】

道路災害復旧工事

地区	路線名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
牧区	牧飯山線	上牧	第 1 工区 フトン箆工 L=10m 第 2 工区 L型擁壁工 L=15m	82
	芋ノ坪切光線	切光	盛土工 V=349 m ³	

道路橋梁災害復旧費位置図
(牧区)

